

令和8年3月10日

足立区立東栗原小学校
校長 田中 岳晴 様

足立区立東栗原小学校 開かれた学校づくり協議会
会長 北村 信也

令和7年度 学校関係者評価書

1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

- 多くの児童が学校生活を楽しく過ごしているように感じる。
- 学校での取り組みがとても分かりやすく、子供たちの成長している姿が伝わってくる。
- 先生たちの頑張りにいつも感謝です。
- 先生の児童に対しての愛情がよく感じられました。
- 登下校の様子を見てみると、元気な姿が多い。交通事故には注意して欲しい。
- 全体的に高評価だと思う。特に、学校が楽しい、授業も分かりやすいなど。

<学力向上>

- 「進んで宿題や家庭学習に取り組む」当てはまらない子が22.6%いることが気になる。
- 国語と算数2科目の正答率・通過率ともに81%未満。基礎的な内容の定着、課題解決をわかりやすく考えさせる授業の工夫・改善で、もっとよくなると思う。

<学習規律や生活規律>

- 子供たちが学習したり運動したりねばり強く取り組んだりすることに対しては、「あまりあてはまらない」などの否定的な回答が比較的多かった(27.4%)。「あきらめない」思いをもってもらえる方法で様々なことをやらせたい。
- 子供たちが主体的に考え、行動できるように、先生たちがファシリテーターになり、先生の意見を伝えるのではなく、子供たちの意見を引き出せるように取り組むと、自主性が伸びると思う。
- 授業の中に、一人一人の発言の機会があって、良いと思う。さらに「その発言に対して何かありますか？」という一言が欲しかった場面があった。
- 地域の公園で遊んでいた子どもたちが、近所の子の家のガラスを割ったことがあった。4、5年生らが表で遊んだり勉強したりするような場所があればいいな、と思うことがある。遊び方については、学校でも注意喚起をして欲しい。
- 特に、1年生の教育、ルールづくりをしっかりとやって欲しい。6年後には、今以上に素晴らしい学校になっていると思います。
- もっと進んで（自分から）あいさつをして欲しい。悪かったと思ったら、進んで謝って欲しい。

<学校・PTA・地域の連携>

- 学芸会の1日目を見た。朝遅刻で来た子がいて、親が朝から怒鳴っている場面があったが、子供にもう少し早く声かけしてあげればいいのに、と思う。
- 東島根中であいさつ運動をやっているが、あいさつを返してくれない中学生が多い。

- あいさつは、保育園でもがんばっている。大人が手本を示している。園では、からだを動かす体験を取り入れて、座っている姿勢、聞く姿勢などに取り組んでいる。
- 卒園児が学芸会であいさつしてくれたり声をかけてくれたりしている。やさしく話かけてくれて嬉しい。
- 大人同士もあいさつをしない、変な人に声をかけられないように、という事情もある。
- ひがくりっ子まつりの後、たこ公園（一ツ家中央公園）にはお菓子のゴミが落ちている。例年のことで、今年は消しゴムに替えて渡したが、今度は消しごむのゴミが落ちていた。ゴミをきちんと捨てることは、家庭でも話していきたい。
- 公園での過ごし方を改めて指導して欲しい。自転車を乗り回す、ボール遊び（バットを振るを含めて）と時々している。また、忘れ物も多い（衣服、水筒、ボール、キックボード）。
- 月1回、お店で綿あめを配っている。知らない子から「わたあめのおじさん」と言ってくれる。子供たちに自分がしていることが認知されていることが良いな、と思っている。公園のゴミについては、六町公園のゴミ拾いを毎週土曜日にやっているが、毎回落ちている。ゴミを持っていく先がないこともある（ゴミ箱が設置されていない）が、考えさせられる。
- 来年度、開かれた学校づくり協議会の花壇づくりを、もう少し大人数でやっていきたい。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

- 昨年度に引き続き、町会夏祭りでのソーラン節などで、ひがくりの子供たちが地域で活躍する姿が見られた。

3 その他

※特になし